

投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部 土木局河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川整備課長 石川浩 (都市河川係長 糟谷 昌俊)	内線	4408 (4417)
------	-------------------	---------------------	---------------------------------	----	--------------------

事業種目	河川事業	事業名	事業区間	総事業費	43 億円
		広域基幹河川改修事業 (一)別府川水田川工区 (工区延伸)	加古郡播磨町北本荘 ～加古川市平岡町 中野	内用地補償費	18 億円

所在地	着工予定 年 度	完成予定 年 度
加古郡播磨町北本荘	15	24

事業目的	事業内容
平成2年9月台風19号により大規模な被害が発生した当該地域の浸水被害を防止し、地域住民が安全・安心に生活できる環境を確保する。	計画流量 45～50 m ³ /s 実施内容 L = 950 m、W = 10.8～15.1m 掘削、築堤、護岸、橋梁8橋

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・当該地域では、平成2年9月18日の台風19号により浸水面積17ha、床上浸水10戸、床下浸水288戸等の大きな被害が発生した。現況流下能力は、5.9m³/sと計画流量の11%程度ときわめて低く、家屋や事業所等の浸水を防止し、地域住民が安全で安心して生活できる環境を緊急に確保する必要がある。 別府川合流点から浜幹線までの間(L=1,112m)については、平成4年度に事業着手し、平成14年度に完了予定である。残る上流部の浸水区域の安全性を確保するため、当該事業区間を拡幅する必要がある。
(2)有効性・効率性 ・有効性 ・代替性 ・効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・費用便益比 B / C = 2.6 . 5 ・当該事業により、市街地の家屋や事業所（東播自動車教習所等）、道路（国道250号、県道別府平岡線、市町道）、鉄道（山陽電鉄）の冠水被害を防止することができる。 ・引堤・河床掘削による河積の拡大以外に現実的な代替案は無い。 ・改修による治水安全度の向上に対する期待が大きく、地域要望も強いことから円滑な事業執行が可能である。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・護岸には環境ブロックを使用するとともに、低水路については、みお筋を活かした自然な水際線を形成することにより、生物の生息に適した環境作りを行う。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・当該地域は、平成2年9月の出水により大きな浸水被害が発生しており、再度の浸水被害を防止するため、完成した下流区間に引き続き、緊急に整備する必要がある。